

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 宮津市立宮津中学校 】

1 実践テーマ	【 I V 】
2 実施対象者	宮津中学校 全校生徒235名（男子126名・女子109名）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（ 保健体育・総合的な学習の時間 ）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ 道徳・特別活動・朝読書 ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p> <p>③</p>
4 目標 (ねらい)	<p>オリンピック・パラリンピックそのものについての学びや、これらを通じた学びにより、「スポーツの力」を実感させるとともに、一人一人に豊かな「スポーツごころ」を育み、2020年以降のスポーツ文化の広がりに繋げる。</p>
5 取組内容	<p>平成30年11月5日にアテネオリンピック陸上競技 男子4×400mリレーで4位入賞した京都府立乙訓高等学校教諭である佐藤氏を講師に迎え、講演等を行っていただいた。</p> <p>この講演に先立って、まずはオリンピックそのものについて学ばせるために、歴史等について講演を軸とする中で、事前・事後学習で学級毎に学んだ。</p> <p>この他にも昨年度、御講演いただいたオリンピックの金村由美子氏や、一昨年度、御講演いただいたパラリンピアンの中野真由美氏らの現在についても、生徒と情報共有する中で、オリンピック・パラリンピックに関する新聞記事等を活用した学習も行った。</p> <p>これらの事前学習に加えて、実際に選手として出場された佐藤氏の経験やエピソード、また、オリンピックを通して感じられたスポーツの価値や様々な地域の文化等についても、お話しいただいた。</p>



6 主な成果

昨年度に引き続き、講演全体を通して、夢や希望を持つことの大切さを話の中心に据えていただくように依頼し、中学生が将来に夢と希望をもてるような講演を行っていただいた。

このことにより、感想等からもスポーツへの関心が高まっただけではなく、自分の今の生活を見直したり、今後の自分の将来について考えるような感想を多数、見ることができた。

【生徒の感想】（一部抜粋）

佐藤さんの講演を聞いて、人間力の大切さ、努力することの重要性について考えることができました。佐藤さんはオリンピックに出られた経験を活かし、僕たちにアスリートの人間力や気持ちの持ち方等、いろいろな面のスポーツ面での大切なことを教えてくださいました。

僕は今、夢があり、それに向かって努力をしているつもりでした。でも今の努力は、本当の努力ではないことに気付きました。努力はただ練習することではなくて日々の生活、学校生活から自分の行動を見つめ、常に自分がどうあるべきかを考えることだと知りました。

今日の佐藤さんに聞いた話を心に留め、これからの人生、これからの自分の夢の実現に向け、日々努力し、人への思いやりややさしさを忘れず、頑張っていきたいと思います。

7 実践において工夫した点（事業の特色）

- 昨年度は宮津市に事業が委託されたこともあり、宮津市内2中学校で連携して講演を実施したが、今年度は宮津中学校単独開催となり、生徒と講師の方との距離が近く感じられた。
- 年度当初より、事業のねらいを明確にして、ねらいに沿った形での講師選定と内容検討を行っており、講師の方への依頼方法や日程調整等、今まで苦勞してきた部分が本年度は非常にスムーズに行うことができた。
- 本事業で購入した物品を使用して、実際に陸上競技の練習を行い、生徒の中で走ることに関する関心が高まった。

<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から市の委託となっており、今年度も経費面の調整は市教委が中心となっていたため、非常にスムーズに行えた。しかしながら、学校側の経費等に係る見通しが甘く、見直しが必要になった部分があったことは、次年度以降に改善をしていく。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック、パラリンピックの選手・元選手を招いての講演会等の実施 ・計画的なオリンピック・パラリンピックに係る学習の積み重ね ・簡単な運動を継続的に行うための保健体育科や部活動等との連携 ・平成28年度の山本氏、平成29年度の金村氏、平成30年度の佐藤氏に引き続き、平成31年度も競技経験者等を招いて継続的な生徒への学習を進めていく予定にしている。